

議会だより

ししか

3月定例会 No.55



富来中学校卒業式

	ページ
定数削減の条例改正案を可決	2
新年度予算を分析	4
保育園の副食費無償化を (一般質問)	17
シルバーハウス生花教室 (グループ紹介)	22



表紙の写真を
募集しています

詳しくは、志賀町議会ホームページをご覧ください。
ホームページの検索は お問い合わせは ☎ 32-9270

3月定例会は、2月26日から3月15日までの18日間の会期で開かれ、補正予算、条例改正などの議案に加え、議会議案や請願など、あわせて49件を審議しました。

3月定例会

議会議案



戸坂議員

今回の選挙では、定員割れが予想されています。連続無投票選挙を回避するよう努めることも議会としての当然の責務だと考え、今定例会に議員定数を16人から14人とする条例改正案を提出しました。

討論は次ページ参照

議員定数の
2削減の
14

条例改正案を賛成多数で可決



賛成

議員定数
削減に対し



反対

稲岡議員

前回、我々16名は無投票で議員になりました。そして、今回、定員割れ、あるいは、無投票が報じられる中で、このままでは志賀町議会の未来はないと思っております。

南議員

議員定数については、それぞれに独自の事情があり、自治体ごとに定数削減を行う最適な時期があると考えています。前回は無投票であった経過も踏まえ、今が定数削減の最適期であると考えます。

中谷議員

議員定数を減らせば、それだけ町政へのチエック力が弱まります。また、減らせばそれだけ多様な地域、町民の声が届きにくくなります。そして、何よりも当選ラインが上がって、これからは担う若い方々や意欲ある方々が議員に挑戦しにくくなります。

討論



条例制定の 議会議案を可決

本条例は、議員が町議会の会議等を長期に欠席した場合、議員報酬及び期末手当を減額することを定めています。

減額の割合	
議会活動をしない期間	減額率
90日を超え180日以下であるとき	20%
180日を超え365日以下であるとき	30%
365日を超えるとき	50%

【提出者】 議会運営委員会委員長

議会議員の議員報酬等の特例に関する条例

議会基本条例

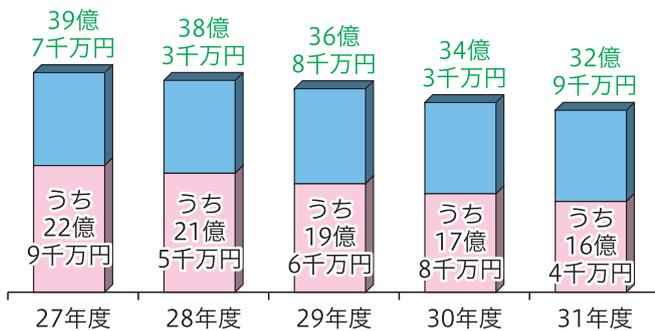
【提出者】 議会改革調査特別委員会委員長

本条例は、「議会及び議員の活動原則」、「議会と町民との関係」、「議会と行政との関係」、「議員相互の討議」、「議会及び議会事務局の体制整備」、「議員定数・報酬等」など、議会の目指すべき方向性や理念を定めています。

が減収の一途を

【前年度から1億4千万円の減】

◆固定資産税の予算額の推移



下段の金額は志賀原子力発電所大規模償却資産です。

◆一般会計予算の状況

歳入では、志賀原子力発電所の大規模償却資産にかかる固定資産税をはじめとした町税全体で、約1億6000万円の減収となるなど、財源の確保が厳しい状況が続いています。

歳出では、公共施設の老朽化による改修や解体、長寿命化対策などが集中しており、財源の不足分を積立金の取り崩しや借金などで補う状況となっています。

各会計予算額の年度別比較

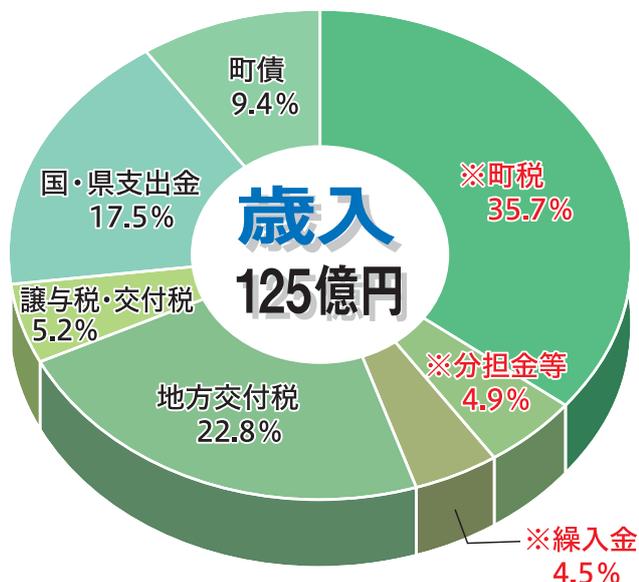
区 分		新年度予算額	(参考) 30年度	(参考) 29年度	
一 般 会 計		125億 円	125億1000万円	121億8000万円	
特 別 会 計	国民健康保険	23億7953万円	25億6223万円	29億4624万円	
	後期高齢者医療	3億3821万円	3億4174万円	3億1267万円	
	農業集落排水	新年度から廃止され、 企業会計（下水道） に移行します。	4億9104万円	4億9831万円	
	公共下水道		8億 843万円	7億5228万円	
	地域し尿処理施設		6452万円	6228万円	
	介護保険	30億1765万円	30億2258万円	29億7695万円	
	診療所	2億 207万円	1億7518万円	1億7480万円	
	ケーブルテレビ	4億6358万円	4億5956万円	4億7135万円	
企 業 会 計	水道	収益的支出	5億8337万円	5億8984万円	
		資本的支出	7億3484万円	4億8258万円	
	下水道	収益的支出	12億6308万円	⇒ 企業会計に移行したことで、減価償却費として約8億6千万円増えました。	
		資本的支出	12億 846万円		
	病院	収益的支出	12億6245万円	12億7324万円	12億8489万円
		資本的支出	2億2554万円	1億7764万円	2億6057万円
合 計		241億7878万円	229億5858万円	229億1413万円	

固定資産税

新年度一般会計予算の内訳

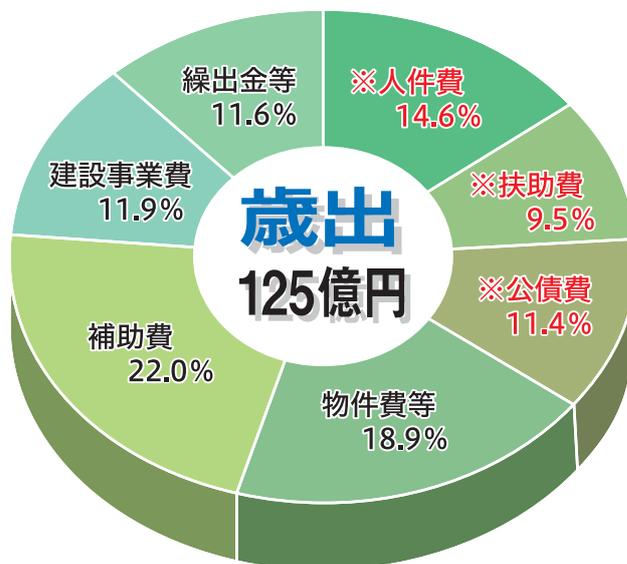
区 分		新年度予算額	前年度比	説 明
歳入 (財源)	町 税	44億6515万円	△ 3.5%	町民税など皆様からいただく税金
	分 担 金 等	6億1500万円	5.6%	分担金・使用料・手数料・財産収入など
	繰 入 金	5億6820万円	40.0%	基金（積立金）から繰り入れるお金
	地方交付税	28億5000万円	5.6%	市町村間の均衡を図るため国が交付するお金
	譲与税・交付金	6億5037万円	4.7%	一定の基準にしたがって国が交付するお金
	国・県支出金	21億8138万円	△ 5.4%	国や県が使用目的を特定して交付するお金
	町 債	11億6990万円	△ 7.9%	町が事業を行うために借り入れるお金
	合 計	125億 円		
歳出 (使いみち)	人 件 費	18億3053万円	5.3%	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶 助 費	11億8237万円	2.8%	医療費や児童手当などに使うお金
	公 債 費	14億2764万円	1.0%	町の借金を返済するためのお金
	物 件 費 等	23億6850万円	8.2%	業務委託・物品購入・施設の維持補修など
	補 助 費	27億5282万円	23.6%	補助金・助成金・負担金など
	建設事業費	14億8448万円	△ 11.7%	道路整備や建物などの建設に使うお金
	繰 出 金 等	14億5366万円	△ 31.2%	特別会計に繰り出しするお金、積立金など
	合 計	125億 円		

(財源)



※は自主財源（町で集めたお金）

(使いみち)



※は義務的経費（任意で削れないお金）

ソフト事業

新規・拡充
サービス



439
万円

部活動等に 指導員を配置

教職員が生徒への指導・教材研究に注力できるように、中学校の部活動指導員等を確保し、教職員の業務支援を行います。



3277
万円

コンビニで 住民票等の発行

来年3月からマイナンバーカードを利用して、コンビニで「住民票」、「戸籍」、「印鑑証明書」を発行することができるようシステムを構築します。



2156
万円

タブレットを導入

教材としてタブレットパソコンを、志賀中学校に60台、富来中学校に30台整備します。



4388
万円

交流人口の拡大 観光振興に

自然や文化などを活用した交流人口の拡大、観光振興を図るため、各種事業を実施します。



おもな

新年度の



630
万円

コミュニティバス等
の利用改善を

地域公共交通網形成計画の目標を達成するため各種取り組みを実施します。



943
万円

感染症の予防を

風しん抗体保有率の低い世代などに対して、風しんの抗体検査や予防接種の助成を行います。

このほか、臨時的な事業としては、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致にかかる経費として1027万円、近年多発する災害への対応として、土砂災害ハザードマップや米町川洪水ハザードマップの作成費として984万円が計上されています。また、消防団員の活動服を新たに更新するため784万円が計上されています。



857
万円

森林の管理に

経営管理が行われていない森林の調査や森林所有者へ意向調査を行います。

ハード事業

新規・継続
工事

めながら実施年度の調整が図られています。



- ⑬ 県営ほ場整備（矢田地内） 9000万円
- ⑭ 旧土田小学校の駐車場整備 5080万円

- ⑳ 防火水槽の設置（安津見地内） 940万円
- ㉑ 大中橋の補修（館地内） 1400万円
- ㉒ 県営ほ場整備（坪野地内） 1億円
- ㉓ 大島キャンプ場管理棟の整備 1400万円

- ⑮ ため池の整備（赤住・百浦地区） 1340万円
- ⑯ ため池の整備（猪の谷第3地区） 2100万円
- ⑰ いこいの村能登半島の改修 5200万円
- ⑲ 高浜漁港の浚渫工事 2570万円
- ㉔ 文化ホール等の改修 1億4730万円
- ㉕ アクアパーク「シ・オン」の改修 3910万円
- ㉖ 高浜町地内の融雪設備整備 800万円
- ㉗ みらいとうぶ住宅地付近の道路改良 1000万円

- ⑱ 陸上競技場の改修 2億8700万円



トラックを全面貼り替えます。

おもな



新年度の

厳しい財政状況の中、投資的経費である建設事業費は、緊急性や重要性を見極

③ ますほの丘住宅の整備 1億260万円



ファミリー棟 12戸を整備します。

⑪ 大坂山トンネル照明器具交換 1480万円 ※照明器具をLED化します。

- | | |
|----------------------|----------|
| ① 栢木地内～大福寺地内の道路新設 | 1億2000万円 |
| ② 県営ほ場整備（相神地内） | 2000万円 |
| ④ 里本江地内～中浜交差点の融雪設備整備 | 700万円 |
| ⑤ 富来活性化センターの改修 | 3460万円 |
| ⑥ 富来中学校前～アスク前の道路改良 | 7600万円 |
| ⑦ 夕陽ヶ丘公園の遊具設置 | 2510万円 |
| ⑧ シーサイドヴィラ渤海の改修 | 2110万円 |
| ⑨ 浜の橋の補修（富来地頭町地内） | 1900万円 |
| ⑩ 富来浄化センターの増設 | 3億3480万円 |

⑫ 巖門園地内木製大橋の架け替え 630万円



予算決算常任委員会

当初予算、補正予算、決算にかかる分野を審査します。

DMMOの設立に支援を

新年度 予算の審査

※DMOとは、観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習など、地元
の観光資源に精通し、
地域と協同して観光地
づくりを行う法人のこと
です。

DMOの設立は
いつ頃か

質疑 DMOの設立はいつになるのか。町はどのような支援をするのか。

答弁 2020年4月の設立を目標にして、本年3月から「地域おこし協力隊」を委嘱し、DMOの設立や運営の業務を行ってもらう。DMOが設立されれば国の補助金を使えるので、町としては、それ以外の部分でサポートしていきたい。
なお、DMO設立にむけて、志賀町観光協会では、戦略的な協会へと転身を図るため、一般社団法人化を目指し、準備を進めている。

制度の内容は

質疑 森林経営管理制度とは。

答弁 森林経営管理が行われていない森林には、町が仲介役となつて森林所有者と林業経営者をつなぎ、森林整備を進めていく制度である。

町内全域を回収
できないか

質疑 海岸漂着物の回収を、町内全域にできないか。

答弁 予算の関係上、難しい。漂着物の多いところや景勝地を優先的に行う。



きれいな海岸を目指して（増穂浦海岸）

平成30年度 補正予算の審査



ふるさと納税 増やす努力を

ふるさと納税の
現状は

現状は

質疑 ふるさと納税の
寄付額はどれだけあつ
たのか。

羽中市では、3億円
以上と聞いている。志
賀町では、町税収が
減り続けているが、ふ
るさと納税を増やすよ
う努力すべきである。

答弁 平成29年度実績で
は3649万円であつ
たが、30年度は3月7
日時点で9200万円
となっている。

増えた理由は、返礼
品の「紅ずわいがに」
が多かったためである。
今後は、優良特産品
をPRするなど努力し
ていきたい。

ふるさと納税の
利益額は

利益額は

質疑 ふるさと納税で
どれだけの利益があつ
たのか。

答弁 寄付額9200
万円のうち、6割ほど
経費がかかるので4割
が利益となる。よつて、
利益額は3700万円
ほどである。

補助金の申請は
あったのか

質疑 除雪機械の購入
に対する補助金は、ど
れだけの申請があつた
のか。

答弁 10件分の予算を
計上していたが、申請
は1件だけであつた。

補助金については、
区長会でも周知をFIG
しているが、除雪機械は
購入費が高いので区と
しても簡単に買えない。

オペレーターに
対する助成金を

質疑 区で除雪機械を
購入してもそれを操作
するオペレーターがい
なければ意味がない。
オペレーターを頼ん

答弁 オペレーターの
確保は大変だと思つ
が、助成金を出すこと
は考えていない。

だ場合に助成金を出す
ことはできないか。

【別表】平成30年度各会計の予算額

区 分		補 正 額	予 算 額	
一 般 会 計		3億3261万円	142億9359万円	
特 別 会 計	国民健康保険	6525万円	26億3240万円	
	農業集落排水	950万円	5億718万円	
	公共下水道	△300万円	8億2393万円	
	地域し尿処理施設	△153万円	5931万円	
	介護保険	△3777万円	29億8863万円	
企 業 会 計	水道	収益的収入	1085万円	6億7140万円
		資本的収入	1149万円	1億1775万円
	病院	収益的収入	△90万円	13億4266万円
		収益的支出	54万円	12億7444万円
		資本的収入	△80万円	1億1585万円



総務産業建設常任委員会

役場内部事務や地場産業にかかる分野を審査します。

基金の積立額は

質疑 地域公共交通の活性化を図るための基金（貯金）を設置することのだが、いくら積み立てるのか。

答弁 この基金は、コミュニティバスの運営費に使うものである。なお、コミュニティバス本体に企業等の広告を掲載し、広告料をもらうことを考えており、その収入を基金に積み立てていく。

フロリーの指定管理料は

質疑 花のミュージアムフロリーの指定管理料は。年間の利用人数は。

答弁 指定管理者の北陸電力㈱が自己負担により運営している。年間5万人前後で推移している。

条例の目的は

質疑 小規模企業振興基本条例を制定する目的とサービスは。

答弁 この条例は小規模企業の振興にかかる基本理念と町の責務、事業者や商工会の役割などを定めたものであり、新たなサービスを定めたものではない。



花のミュージアムフロリー

教育民生常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を審査します。

施設は地区の行事に使えるのか

質疑 放射線防護施設の西浦防災センターを地区の行事に使うことはできるのか。

答弁 国からは、地区の会議や運動会などの行事に開放できると聞いている。

施設の維持管理費は町が支払うのか

質疑 西浦防災センターの維持管理費は誰が支払うのか。

答弁 地区の行事にも使用できるため、電気代などの維持管理費は町が支払う。



所在地：志賀町鹿頭
 収容人数：100人
 建設費：2億4029万円（国が全額負担）

一時避難施設として整備された西浦防災センター

原子力発電所対策特別委員会

志賀原子力発電所の 敷地内断層

について議論

1月18日、志賀原子力発電所の敷地内断層問題について北陸電力に説明を求めました。

国の基準では、活断層の上に原子力施設を造ることを禁止しており、活断層とは12〜13万年前より後に活動した断層をいいます。

志賀原子力発電所の敷地内には複数の断層があります。断層が、北陸電力からは、「断層は1700万年前にできたと考えており、活断層ではない」との説明がありました。

議会改革調査特別委員会

本委員会は平成28年6月に設置され、これまでに5回の先進地視察と62回の委員会を開催し、議会改革に必要と思われる以下の12項目について、調査を重ねてきましたが、平成31年2月に調査が終了したことから、3月定例会最終日に調査結果が報告されました。

議会改革調査特別委員会の調査結果

調査項目	調査項目の説明	調査結果
自治法第96条第2項の議決事件	重要案件について、これを条例で定めれば議決事件となります。	議決事件は現状どおり
議会先例集	議会の詳細な運用方法や判断基準などをまとめた手引書を策定します。	策定する
自治法第100条第12項の協議の場	協議の場として会議規則に定めることで、公式な会議となります。	全員協議会、委員長会議、常任委員長会議、議会研修会、報告会とする
委員会の再編	委員会の構成や権限などについて議論しました。	委員会の構成は現状どおり
議員間討議	議員間で討議しながら理解を深めた上で、委員長報告にまとめます。	導入する
議会報告会	議員が地域に出向き、町民に対して議会活動の状況を報告します。	実施する
政務活動費	議員の調査研究等のため必要となる経費の一部を支給します。	導入しない
タブレット端末	議案などの資料をデータ化して、端末で閲覧できるようにします。	導入する
一問一答方式	一般質問の質問方法で、一項目ずつ質問し、その都度答弁する方式です。	導入する
通年制	定例会の開催を年1回として、会期を長期化する制度です。	導入しない
議会基本条例	議会が目指すべき方向性や理念、目標等を明示した条例です。	策定する
議員定数と報酬	定数と報酬のあり方について、参考データを基に議論しました。	全員協議会に委ねる

議 決 結 果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
27 32～34	31年度一般会計ほか、ケーブルテレビ事業特別会計、水道事業会計・下水道事業会計の当初予算…【4ページ参照】	可決 賛14 反1
28～31 35	31年度国民健康保険特別会計ほか、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、診療所事業特別会計、富来病院事業会計の当初予算…【4ページ参照】	可決 賛15 反0
36	30年度一般会計補正予算（追加分）…志賀中学校体育館非構造部材耐震化対策事業を追加するため所要額を補正する。	可決 賛15 反0
37	工事請負変更契約の締結「農業集落排水事業（機能強化）直海地区施設改修工事」…本工事を行うにあたり、アムズ(株)と5,174万2,800円で変更契約を締結する。	可決 賛15 反0
発委 1	議会基本条例の制定…【3ページ参照】	可決 賛13 反2
2	議会会議規則の一部改正…「地方自治法第100条第12項の協議の場」と「一問一答方式」を規定するため改正を行う。	可決 賛13 反2
3	議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正…委員長・常任委員長会議、議会研修会を費用弁償の対象とするため改正を行う。	可決 賛14 反1
4	議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定…【3ページ参照】	可決 賛15 反0
発議 1	議会議員の定数を定める条例の一部改正…【2ページ参照】	可決 賛10 反3
2	議会委員会条例の一部改正…議員定数を16人から14人により、総務産業建設常任委員会、教育民生常任委員会、予算決算常任委員会の定数を変更する。	可決 賛10 反3
3	加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度の創設を求める意見書…加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度を創設するよう国に要望するもの。	可決 賛15 反0
請願 1	国に国保への国庫負担増を求める請願…高すぎる保険料を引き下げのため、国保に必要な財源を確保するよう国に求めるもの。	不採択 賛2 反13
2	75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める請願…75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求めるもの。	不採択 賛2 反13
3	憲法9条の改定に反対し、憲法を生かした政治の実現を求める意見書採択についての請願…憲法9条の改定に反対することを国に求めるもの。	不採択 賛2 反13

永年在職議員表彰



3月定例会最終日、志賀町議会議員として、20年以上及び15年以上在職された議員に表彰状が授与されました。

【20年以上】

林 一夫、櫻井 俊一

【15年以上】

田中 正文、越後 敏明、須磨 隆正
下池外巳造、南 政夫

3月定例会

議案番号	議案名と内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 1	専決処分の承認（30年度一般会計補正予算）…豪雨災害で発生した復旧事業等にかかる補正を行った。	承認 賛15 反0
2	専決処分の承認（30年度農業集落排水事業特別会計補正予算）…直海浄化センターの貯留槽に亀裂が生じたため緊急に修繕を行った。	承認 賛15 反0
議案 1～8	30年度一般会計ほか7会計の補正予算…事業の確定や精算見込みにより所要額を補正する。【11ページ別表を参照】	可決 賛15 反0
9	地域公共交通活性化基金条例の制定…地域公共交通の活性化を図る経費に充てることを目的とした基金を設置したので、新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
10	交流センター条例の制定…旧熊野小学校体育館を改修し、熊野交流センターとして整備したので、新たに条例を制定する。	可決 賛15 反0
11	小規模企業振興基本条例の制定…小規模企業の成長・発展と地域経済の活性化を図ることを目的とした条例を制定する。	可決 賛15 反0
12	防災センター条例の制定…西浦防災センターを整備したので、すでに整備済みの富来防災センター、稗造防災センターと合わせて、新たな条例を制定する。	可決 賛15 反0
13	消費税及び地方消費税の税率改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定…消費税率の引き上げにともない公共料金等を改定するため関係条例を整理する。	可決 賛14 反1
14	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正…地方自治体が独自に低い利率で災害援護資金の貸付が可能とされたことから所要の改正を行う。	可決 賛15 反0
15	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正…国家公務員にならい、超過勤務命令を行うことができる上限を定めるなど、所要の改正を行う。	可決 賛15 反0
16	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正…放課後児童支援員の資格要件を拡大するための改正を行う。	可決 賛15 反0
17	国民健康保険条例の一部改正…被保険者の資格の適用除外について、県内市町で統一した規定を定めるため改正を行う。	可決 賛15 反0
18	国民健康保険税条例の一部改正…関係法令の改正により、保険税の課税限度額の基準について所要の改正を行う。	可決 賛15 反0
19	水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正…水道技術管理者の資格要件を見直すため改正を行う。	可決 賛15 反0
20	病院事業の設置等に関する条例の一部改正…町立富来病院の病室の利用料金を一部引き下げるため改正を行う。	可決 賛15 反0
21・22	町道路線の認定（町道第174号みらいとうぶ3号線・町道第6089号栢木大福寺線）…新たに2路線を町道として認定する。	可決 賛15 反0
23	地域共生型施設「花のミュージアム フローリィ」の指定管理者の指定…引き続き、北陸電力(株)を指定管理者として5年間指定する。	可決 賛15 反0
24	二級河川の指定の変更に関する意見…石川県知事から、二級河川日用川水系の指定の変更について意見を求められ同意する。	可決 賛15 反0
25	準用河川の指定の変更…準用河川日用川水系の指定を変更する。	可決 賛15 反0
26	過疎地域自立促進計画の一部変更…過疎対策事業債の対象事業を追加するため、計画の変更を行う。	可決 賛15 反0



あの質問のゆくえ

平成29年3月
定例会の一般質問

企業用地の整備 を検討せよ

安い電気料金、手厚い補助制度、災害リスク対策等を理由に、本町への企業立地の機運も高くなっており、新たな企業用地の整備も検討すべきである。

町側の答弁

県と連携して検討する

県と連携して、企業側のニーズや国内の経済情勢を注視しながら検討していきたい。

どうなった

31年度に整備

新たに用地36,476㎡を取得し、31年度に伐採・整地など敷地の整備を予定しています。

平成30年12月
定例会の一般質問

すべての保育室に エアコンを設置せよ

冷房設備がない部屋で保育・幼児教育が行われていることに疑問を感じている。すべての保育室にエアコンを設置してもらいたい。

町側の答弁

意向調査を行い検討する

今後、全保育室へのエアコンの設置を考慮し、すべての園児に快適な環境を提供できるよう計画的に進めていきたい。

どうなった

順次設置を開始

30年度から順次エアコンの設置を開始しており、31年度中にすべての保育室に設置する予定です。



福田 晃悦 議員

保育園の副食費無償化を

財政状況を勘案し検討する

町長

福田 30年10月から幼児教育・保育無償化に向けた法律が閣議決定されたが、無償化後も3歳児以上には別途、副食費（おかず代）が課せられることになる。全国では、副食費を無償化する自治体が出てきているが、本町も副食費の無償化をしないのか。

町長 国は、おかず代の基準額を4500円とし、3歳児から5歳児は、全額を保護者の負担とする方針を示している。

また、低所得世帯等については、負担が増えないよう年収360万円未満相当の世帯や第3子以降を免除の対象として、制度を拡充している。

よって、年収360万円以上の世帯には、副食費を負担してもらうことになるが、現在の保育料より負担する額は低くなるものと見込んでいる。

副食費に対する支援は、財政状況を勘案しながら検討したい。

グラウンドに照明設備を

現時点では難しい 町長



照明設備がない志賀小学校グラウンド

福田 志賀小学校のグラウンドには照明設備がなく、日が落ちたグラウンドで野球の練習をする光景は歯がゆさを感じる。

また、志賀小学校は、避難施設に指定されていることから、夜間に避難があった場合、グラウンドが真っ暗では駐車できないとの話も聞く。

照明の設置が必要と考えるが町長の考えは、

町長 照明を設置すると、志賀小学校グラウンド周辺に隣接する住宅、福祉施設、アパートなどの住民生活に影響を及ぼすことが考えられる。

特に、東側に位置するグラウンドより低い土地の住宅等には、直接窓に照明光が差し込む可能性があることから、現時点での照明設置は難しい。

その他の質問・

福田 高齢者や認知症の見守りとして、金沢市が導入している「みまもりタグ」を活用できないか。

健康福祉課長 本町の徘徊高齢者位置発見サービス事業により、認知症対策に取り組んでいく。



南 正紀 議員

運転免許証の 自主返納者に支援を

支援の充実を図りたい 町長

南 本町には、充実した生活交通ネットワーク計画策定事業が展開されているが、高齢者運転免許証自主返納者に対する報奨制度については若干対策不足の感がある。

外出の自由が制限されることの不安から免許証の返納をためらうことのないよう、さらなる充実した対策を求めらる。

町長 町では、高齢者運転免許証自主返納者に対して、「コミュニティバスの回数券55枚と町内で使用できる商品券5000円分を交付するなどの支援を行っている。

今後は、コミュニティバスを1年間利用できる年間バスを交付するなど、支援の充実を図っていききたい。また、タクシー料金の助成についても検討したい。

補助金の必要性を説明せよ

補助金は必要 環境安全課長

南 例年、当初予算の審議で、志賀原子力発電所環境安全対策協議会に対する補助金について疑義が唱えられている。

この協議会は、町民や各種団体に原子力に関する広報を通じ発電所と住民との信頼関係の醸成を目的としている。

会員は、商工会、区長会、老人クラブ、女性団体など地域に根付いた各種団体が参画しており、十分に認知された協議会である。

この際、補助金の必要性を住民向けに説明すべきである。

環境安全課長 当協議会は、議会をはじめ町内の各界各層の団体や法人、個人で構成された組織である。

その事業内容は、志賀原子力発電所等の見学会や勉強会の開催、広報誌やチラシの発行が主となっている。

広報活動では、「環安協だより」、志賀原子力発電所の安全対策等のチラシをそれぞれ年3回発行し、町民に原子力発電に関する最新の情報の提供と知識の普及を図っている。

このように、原子力に関する正しい理解や最新情報の提供を行っていくことは、大変重要なことであり、当協議会に対する広報委託や補助金については、当然必要なものと考えている。



団体が発行する環安協だより



中谷 松助 議員



復旧工事の現場（倉垣地内）

災害復旧の見通しは

復旧に向けて努力したい

まち整備課長

中谷 昨年の記録的な

豪雨や相次ぐ台風の襲来により、町内各所で道路や農地の冠水、河川の氾濫による浸水や土砂崩れなどが発生し、大きな被害を受けた。その後、町や土木関係者の方々の懸命な対応で工事が行われているが、現在の進捗状況と今後の見通しは。

まち整備課長 復旧工

事は、緊急性が高い箇所から工事を発注しており、現在440件の契約を済ませ、そのうち370件は年度内に工事を完了する見込みである。未発注の160件は、条件が整い次第発注し、1日も早い復旧に向けて努力したい。

10連休中の医療態勢は十分か

対応したい 富来病院事務長

中谷 10連休となる今年のゴールデンウィークで心配なのは、町内の外来医療態勢である。

富来病院や志賀クリニックの医療態勢は十分か。町内の医療機関との連携はあるのか。

富来病院事務長 富来

病院は、4月30日の火曜日と5月2日の木曜日の午前中に、内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科の外来診療を行う。

また、富来病院は、第2次救急告示病院として、365日24時間体制で救急搬送の受け入れを行っている。

志賀クリニックは、4月27日の土曜日と5月3日の金曜日の午前中に外来診療を行う。

町内医療機関との連携は、羽咋郡市医師会との協議により、休日当番医を置くことで対応したい。

その他の質問・

中谷 アクアパーク

シ・オンとホームセンター間の横断歩道に照明の設置を。

まち整備課長 検討

したい。

中谷 志加浦保育園の閉園は住民の合意を得ているのか。

町長 一定のご理解は

いただいている。

中谷 子どもの医療費窓口無料化を求める。

住民課長 今のところ

考えていない。

中谷 志賀原発の廃炉と自然再生エネルギーへの転換を求める。

環境安全課長 国の審査状況を注視したい。



堂下 健一 議員

有給休暇の利用促進を

利用促進に努める 総務課長

堂下 昨年の国会で、働き方改革にともなう労働法の改正があり、年次休暇を年5日以上確実に使用することを促進することなどが決められている。志賀町職員の実態はどのようなものか。また、効率的な有給休暇の利用促進策についても聞く。

総務課長 職員の有給休暇取得の平均日数は、直近3か年で一人当たり年間約8日取得しており確保されている。今後も弾力的な有給休暇の取得に努めるとともに、連続した取得ができるように配慮し、ワークライフバランスに努めていきたい。

また、町内の企業に対しては、労働基準監督署や商工会等から指導や情報提供がなされているが、町としても広報等により啓発していきたい。

新しい教育方針への認識は

教育の充実を図る

教育長

堂下 2020年4月から始まる新学習指導要領では、コンピューターを使って考える力を育むプログラミング教育や小学校3年生からの外国語教育が新しく加わることになる。新しい教育方針への認識とその準備状況を聞く。

教育長 新学習指導要領の実施に向けた準備として、志賀町学校教育モデルの編成を図っていく。

来年度も新学習指導要領のもと、プログラミング教育や外国語教育などの充実を図っていききたい。



小中学校で使用する学習指導要領

その他の質問・

堂下 福島原発事故から9年目を迎えての町長の率直な思いを聞く。

町長 いまだに多くの方々が避難生活を余儀なくされている現状を考えると、改めて、町民の安全・安心を確保していくことの責任の重大さを痛感する。

堂下 RE100イニシアティブへシフトしつつある金融界の流れをどのように認識しているのか。

環境安全課長 RE100は、民間企業が事業運営で使うエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目指した取り組みであり、今後とも、エネルギーを取り巻く社会情勢を注視していきたい。



稲岡 健太郎 議員

待機児童「ゼロ」を目指せ

処遇改善を凶っている 町長

稲岡 志賀放課後児童クラブでは、定員超過による待機児童が発生する見通しとなったが、公民館や放課後の空き教室、ランチルームを放課後児童クラブとして機能させることはできないか。

町長 現在、志賀小学校には、余裕教室や学校教育に支障を及ぼさない範囲で利用できる教室等はなく、放課後のランチルームは、学校の管理運営上支障があるため困難である。公民館の活用については、国の厳しい基準があるため今のところは難しい状況である。また、人員を確保するため、臨時職員である補助員が支援員の資格を取得した場合に、翌年度に臨時職員から嘱託職員へ移行し、期末手当や通勤手当を支給している。

外国人労働者に対する取り組みは

体制の整備を検討したい 町長



ボランティアに参加する外国人労働者ら
(提供：石川サンケン株)

稲岡 改正出入国管理法により、さらなる外国人労働者の増加が見込まれるが、それにもない、在住外国人によるトラブル等も増加すると予想される。

町長 外国人の相談対応は、多言語対応の翻訳アプリや通訳サービスなどの活用、パンフレットの作成などの対策を考えている。また、地域住民とのトラブルを発生させないためには、外国人を孤立させず、町民の一員として受け入れることが大切である。今後も国の動向や情報を注視しながら、外国人に対し適切な対応ができるように体制の整備を検討していきたい。

グループ紹介 33

シルバーハウス 生花教室

自分の生活に美的と豊かさ



講師 片山 豊美 さん

◆ 結成の経緯と生け花の楽しさ

5年前に、お花に興味のある人が集まって始まりました。その季節の素材で「わきあいあい」と楽しく稽古しています。

日常生活の中で、花との出会いがストレス解消になり、心に安らぎを与えてくれます。

◆ 普段の活動は

毎月の第3木曜日、午前10時からシルバーハウス(代田)で行っています。年1回、花展を開いています。



一本の花から楽しさを!

◆ 今後の目標や思いは

1人でも多くの人たちが花と携わって活力ある生活をして、毎日楽しく暮らせることを目標としています。やる気のある方は、お気軽にシルバーハウスへお越しください。一緒にお花で楽しい時間を過ごしましょう。



花でストレス解消!

〈筆者から議会への要望〉
暮らしを豊かに!
みんな笑顔に!
子供から現役世代、そして高齢者まで、生涯を通じて誰もが安心できる全世代間の社会保障を構築した町になることを要望します。

お知らせ

6月定例会の予定日です。本会議を傍聴してみませんか。

6/4 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が行政報告や議案説明をします。)
6/11 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
6/18 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者	議長 南 政夫
議会広報特別委員会	委員長 寺井 強
委員	副委員長 福田 晃悦
委員	稲岡健太郎
委員	南 正紀
委員	富澤 軒康
委員	櫻井 俊一